

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、北に四天王寺や国道25号線、南に天王寺・阿倍野のターミナル、西に動物園や天王寺公園、東に環状線寺田町駅を控えた寺社や商売、教育関係で発展してきた町で、子どもたちは概ね穏やかで素直な児童が多い。また校区に児童養護施設を有し、全校の約10%の児童が在籍している。児童の中には、これまでの成育歴に起因する課題を抱え、学力面にも情緒面にも細心の配慮を要する場合もある。そのため、基礎学力の育成と心の居場所、心を育む場としての学校の役割は大きい。また、近年児童数の急増が見られ、中国を中心とした渡日児童も増えている。その殆どが日本語を全く話せないため、学習以前のコミュニケーションに児童も教員も苦勞する場面が多くなっている。

本校は、教育目標を「心豊かで助け合うたくましい子どもを育てる」とし、これまでも「自ら考え判断できる子」「心豊かな素直な子」「仲よく助け合う子」「進んで運動するたくましい子」、知・徳・体バランスのとれた子どもの育成に全教職員が一丸となって取り組んできた。また、「JAET」優良校として、全学年で端末等を活用した授業づくりに取り組んでいる。

令和6年度大阪市小学校学力経年調査における標準化得点では、ほとんどの学年で市平均を上回っているものの、その差はわずかであり、今後はこの状態からさらに向上させることができるかどうかは課題である。また、令和6年度全国体力・運動能力調査の結果では男女差が大きく、一週間あたりの運動量も大きく違いがある。それは、体力合計点では男子は全国平均を上回ったが、女子は全国平均を下回るなど結果にも表れている。

グローバル化、情報化がますます進む変化の激しい21世紀をたくましく生き抜く自律した社会人に成長するようコミュニケーション力やコラボレーション力、ICT機器活用能力、健康な体と豊かな心をもった子どもの育成は引き続き本校の課題であると考えている。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。→R7 96.2%に変更

【未来を切り開く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を66.6%以上にする。→R7 69%に変更

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- ・令和7年度の第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を84.9%以上にする

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96.2%以上にする。（昨年度実績96.1%）

【未来を切り開く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を69%以上にする。（昨年度実績68.9%）

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の57.4%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕（昨年度実績57.3%）
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を94%以上にする。（昨年度実績93%）

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度は、学校経営方針の重点を「着実な教育実践のもと、新しい一步を踏み出す学校を作る」として、確かな学力を身に着けさせるための授業実践と豊かな関係を築き上げるための学級・学年経営の取り組みを進めながら学校運営を行ってきた。

安全・安心な教育の推進については、全校を挙げて組織的に教育活動を行い、学校生活の様々な場面で、たて割り活動や異学年交流を行うことで児童相互の関わりをより深いものにした。学級内で児童が活躍できる場を設けたりすることで、児童の自己有用感を高めることができた。落ち着いた環境の中で、多くの児童が毎日の学校生活に期待をもっている様子は、学校が楽しいと感じる児童が、昨年度よりも増加していることにも表れている。今後も、児童一人一人に寄り添った指導と支援を続けていきたい。

学力や体力の向上については、指標に掲げた取り組みの効果が表れていると思われるが、大阪市学力経年調査や全国体力運動能力等調査の結果を見ると、まだ十分とは言えない。引き続き学習規律の確保と授業改善に取り組み、主体的に学びに向かう児童の育成に努めるとともに、校舎建築による運動量の減少への対応などを含め、特に運動に対する興味関心を高める工夫をしていかなければならない。

学びを支える教育環境の充実については、学習者用端末の活用率や時間外勤務の削減など、数値面ではすでに十分な成果を上げている。これからも内容の伴った端末の活用を進めていくことや、働きがいがあり協働性の高い職場環境づくりに努力していくことで、天王寺小学校の良さをより高めていきたい。

(様式2)

大阪市立天王寺小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(昨年度実績80.7%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96.2%以上にする。(昨年度実績96.1%)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童が学校が楽しいと思える環境を作る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ア 子どもの情報を共有する場(生活指導部会・特別支援打ち合わせ会 など)を毎月設定することで子どもの困り感や学校の課題に教職員が気づき、適宜対応できるようにする。</p> <p>イ 天小ガイドブックをもとに安全な学校生活を送ることができているかを毎学期振り返るようにする。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>学級内・異学年間での活動を充実させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ア ふれあい遊びや児童集会、ペア学年での遠足など、異学年間での活動を年間30回以上行う。</p> <p>イ 高学年が低学年の手本となったり直接教えたりする活動として、たてわり清掃を実施し、振り返り活動を毎回行う。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする全校児童の割合は88.1%となり、目標数値の85%に到達することができた。これは児童の情報共有の場を計画通りに行うことができ、個別の対応を適切に行うことができたり、問題が発生した際に、管理職や関係教諭を中心に対応することができたりしたことによるものだと考えられる。また、天小ガイドブックがあることで、校内できまりを統一することができ、指導の徹底ができた。

取組内容②

- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合で、「当てはまる」と回答する全校児童の割合は95.6%となり、目標数値の96.2%に到達することができなかった。
- 児童集会やふれあい遊び等のたてわり班活動（動画による集会やゲーム等も含め）を計画的に実施することができ、異学年間での活動を充実させることができた。また、30回以上のたてわり活動が実施できた。
- 今年度はペア学年による遠足は実施されなかったが、運動会の団体演技での交流があり、低学年は「学校たんけん」や「おもちゃランド」でのペア学年交流があった。

次年度への改善点

取組内容①

- ・トラブルの早期対応として、心の天気の入力率80%以上の日を毎月90%以上にし、「雨」や「雷」の入力が3日以上続く児童には声かけを行う。併せて、相談申告機能があることを学級や全校朝会で周知し、いじめやトラブルの未然防止に努める。
- ・天小ガイドブックを通したきまりの浸透を図るため、ミマモルメや学年だよりなどを通して発信することが必要である。
- ・全校朝会で看護当番が生活目標について話す際、天小ガイドブックの内容に触れることで、きまりの徹底を図る。

取組内容②

- ・異学年での活動は今後も計画的に継続していく。
- ・たてわり清掃は今後も継続的に行い、清掃担当が高学年としての意識を持てるように指導をしていく。
- ・ふれあい活動の時期を感染症が流行る時期と被らないように計画していく。
- ・来年度はペア学年による遠足を実施していく。

大阪市立天王寺小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。(昨年度実績48.7%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を69%以上にする。(昨年度実績68.9%)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>各教科等での言語活動の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ア ペア交流やグループ活動、クラウドを活用した他者参照(友達の考えの見える化)などによる伝え合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる授業を一日に1回以上する。</p> <p>イ 言語活動を計画的に位置づけ、協働的で学びを深める授業実践を年1回以上行い、教員の指導力の向上を図る。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>児童が進んで運動に取り組んだり、健康を意識したりする環境を作る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ア 体育朝会で、投の運動(遊び)を学期に1回実施する。</p> <p>イ 体育科の実技研修を年間2回実施する。</p> <p>ウ 毎月、保健目標などに合わせて自分の健康生活や健康状態を見つめる取り組みを行う。</p> <p>エ 食に関する指導や給食指導を全体計画に沿って行ったり、校内の献立コンクールや給食週間を実施したりする。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する全校児童の割合は50.9%となり、目標数値の50%に到達することができた。これは、ペアやグループだけに限らず、ロイロノート・スクールやGoogleclassroomなどのアプリを活用した伝え合う活動によって、児童が友達のさまざまな考えに触れることができた結果だと考えられる。また、協働的で学びを深める授業実践を年1回以上実施することで、教員の指導力の向上を図り、児童の考えの深まりや広がりにつなげることができた。

取組内容②

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は67.1%でわずかではあるが、目標の69%を達成することができなかった。また、3年生は大阪市平均を上回ったが、4年生以上は大阪市平均を下回った。

ア 1学期に教室で紙鉄砲、2学期に紅白玉投げ、3学期に1・2年生は紅白玉投げ、3～6年生はコーン当てやロケット投げをして、計画的に「投」の運動遊びを実施することができた。

イ 1学期に体づくり運動・「投」の運動・ラジオ体操・リレーのバトンパスの実技研修と新体力テストの実技研修を計画的に実施することができた。それにより、教員の体育科の指導力の向上につながった。

ウ 毎月、学習者用端末を利用して健康についての振り返りをしたことで、全体の傾向や分析を行うことができた。

エ 食に関する指導や給食指導を全体計画通りに実施することができた。それにより、児童の食の関心が高まった。

次年度への改善点

取組内容①

- ・今後も、ペアや交流活動を積極的に取り入れたり、学習者用端末に入っているアプリ等を活用したりして、児童が友達の考えに触れる機会を増やしていくようにする。また、学習時の振り返り等を活用することで、考えの深まりや広がりを児童がより実感できるようにしていく。

取組内容②

- ・運動が好きな児童の割合を更に増やすために、体育科の学習の導入として体ほぐしの運動（遊び）を積極的に取り入れたり、休み時間に運動遊びを楽しめる環境を整えたりする。また、次年度は体育朝会においても体を動かす楽しさを感じられる運動遊びをする。そして、より充実した体育科の指導をするために、今年度実施した領域以外の研修も行うようにする。

- ・健康の振り返りを通して、自分自身の健康生活や健康状態を見つめる方法を工夫するとともに、来年度も引き続き子どもの食への関心が高まる取組を計画的に実施する。

大阪市立天王寺小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の57.4%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕(昨年度実績57.3%)</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を94%以上にする。(昨年度実績93%)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 学習者用端末を毎日使う環境を作り、活用内容を充実させる。</p> <p>指標</p> <p>ア 一日に1回以上、児童が学習者用端末を使って、デジタルドリルや協働学習支援ツールを活用する。それを通して、指導者が指導法や支援の工夫を行い、児童が主体的に学習に取り組めるような個別最適な学びを充実させる。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 学校閉庁日を設けるとともに、時間外勤務時間の削減に向けた取り組みを行う。</p> <p>指標</p> <p>ア 学校閉庁日を年5日設ける。 イ 週1回のゆとりの日を対象となる授業中の全週中、90%以上実施する。</p>	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容① 年度目標の「児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の57.4%以上にする」は79.2%となり、目標数値を大きく上回る結果となった。毎日の心の天気習慣化に加え、ナビマやロイロノート・スクール等を日常的に活用した授業を行うことで、個別最適な学びの実現につなげることができた。</p> <p>取組内容② 学校閉庁日が年間7日あり、ゆとりの日も週1日設定されたことによって、教職員が勤務時間を意識して計画的に職務を遂行することができた。その結果、年度目標の割合が1月時点で97.06%となった。</p>	
次年度への改善点	
<p>取組内容② 今後も活用率を上げるよう継続的に取り組み、学習者用端末を効果的に活用することで、個別最適な学びの充実、拡充につなげていくようにする。</p> <p>取組内容② 取組を継続し、教職員の勤務状況の改善に努めていく。</p>	